

## 講演会報告

著者	金谷 壮太
雑誌名	外国語教育論集
巻	42
ページ	80
発行年	2020-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00159897">http://hdl.handle.net/2241/00159897</a>

## 講演会報告

### グローバルコミュニケーション教育センター主催 新入生に贈る公開講演会

2019年5月29日（水）、中央図書館（筑波キャンパス）2階集会室において、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター主催による新入生に贈る公開講演会「グローバル時代を生きるためのヒントー多文化共生社会の中で創造性を発揮するためにー」（講師：白山利信 CEGLOC 外国語教育部門長・人文社会系教授）を開催しました。本講演会は、2014年度までは外国語センター主催で開催、2015年度からはグローバルコミュニケーション教育センター主催で開催している恒例行事です。

講演者の白山外国語教育部門長は、まず、現代における日本社会の多文化化・多言語化について触れ、その内実を紹介するとともに、文化、文化理解、文化衝突といった概念について述べ、人間や文化の多様性を可能な限り尊重することを旨とする文化理解の目標や多文化共生の理念を説明しました。そのうえで白山外国語教育部門長は、グローバル時代において重要だと考えられる創造性のあり方として、「創造的問題解決能力」に言及しました。各人が持つ知識・技能・経験を最大限に活用することに基づいた「創造的問題解決能力」は、不透明な現代社会のなかで、問題の所在を明らかにしたうえで問題を解決する方法を見出すことにあるという点が述べられました。また、この能力を高めるために必要なこととして、自分自身を客観視し諸々の知識・技能・経験を組み合わせることができるといったメタ認知的な思考力を鍛える、母語や母語以外の言語運用能力を向上させる、などといった事柄が挙げられました。

最後に講演者は、聴講した新入生に向けて、（外国語運用能力は母語の運用能力を前提としていることから）母語による言語技術を磨き続けてほしい、巨視的思考と直視的思考の双方を働かせながら試行錯誤を繰り返して自身の目標に近づいてほしい、そしてまた、複雑な現代社会に対応できる力や文化理解力を高めてほしい、とのメッセージを贈りました。

（文責：CEGLOC 特任研究員 金谷壮太）



講演する白山教授



講演会の様子